

2. 中心市街地の活性化について（問4～問6）

問4 中心市街地へはどのような目的で行かれましたか。（複数回答：n=2,208）

（1）全体的傾向

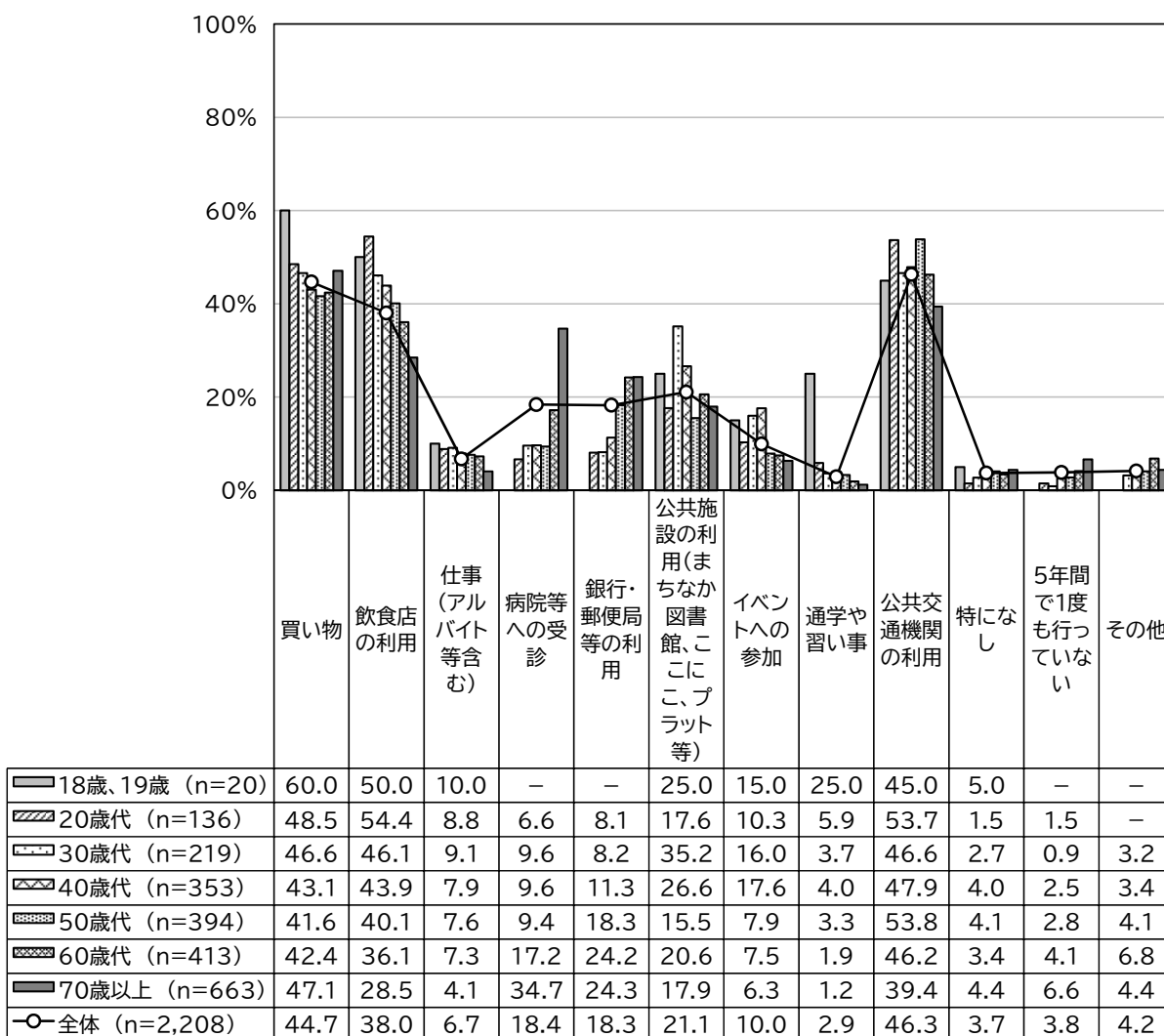
「公共交通機関の利用」と回答した人の割合が46.3%と最も高く、次いで「買い物」（44.7%）、「飲食店の利用」（38.0%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で「公共交通機関の利用」、「買い物」、「飲食店の利用」と回答した人の割合が高く、特に「買い物」と回答した18歳、19歳は60.0%と他の年代と比べ高くなっている。

また、20歳代から60歳代は「公共交通機関の利用」と回答した人の割合が46.2%～53.8%と高くなっている。

一方、18歳、19歳は「通学や習い事」と回答した人の割合が25.0%、70歳以上は「病院等への受診」と回答した人の割合が34.7%と他の年代と比べ高くなっている。



問5 現在の中心市街地は、概ね5年前と比べにぎわいが増していると思いますか。
(n=2,239)

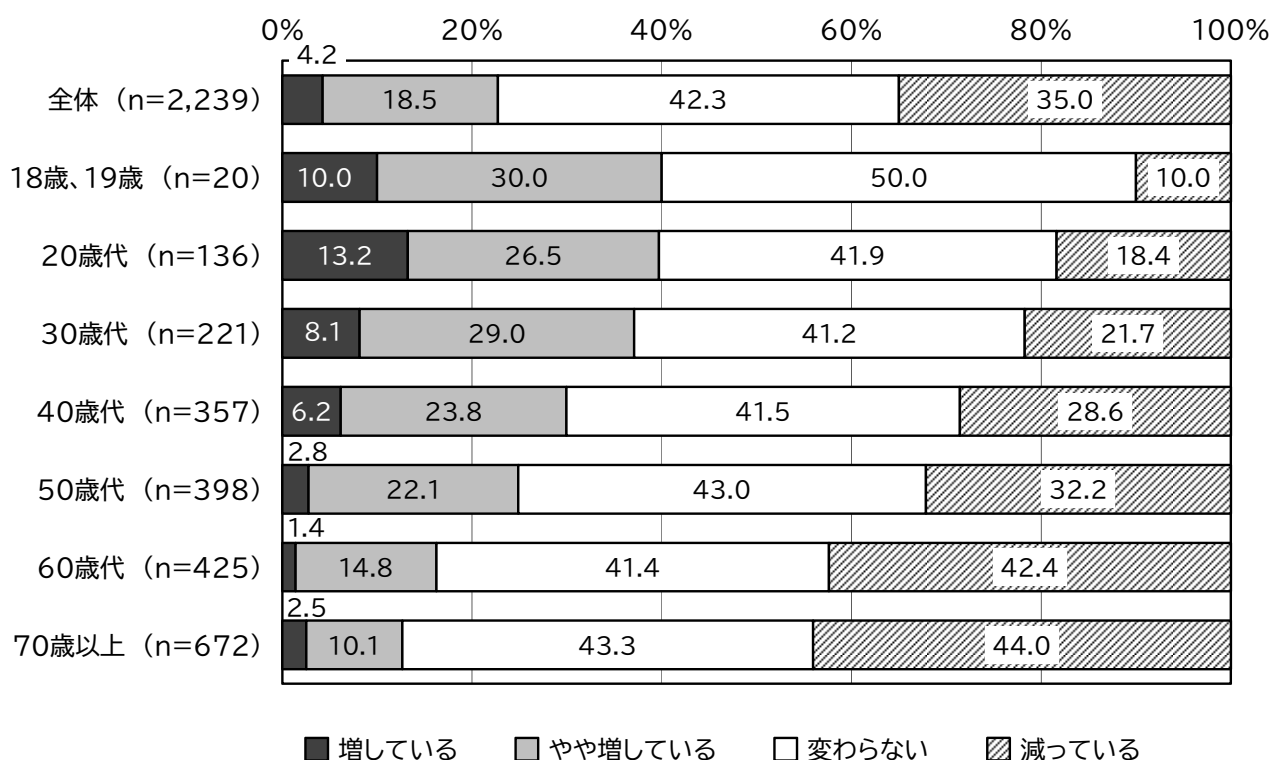
(1) 全体的傾向

「変わらない」と回答した人の割合が42.3%と最も高く、次いで「減っている」(35.0%)、「やや増している」(18.5%)、「増している」(4.2%)となっている。

(2) 年代別にみた特性

「増している」、「やや増している」と回答した人を合わせた割合は年代が低くなるほど高くなる傾向があり、18歳、19歳は40.0%となっている。

一方、「減っている」と回答した人の割合は、年代が高くなるほど高くなる傾向があり、60歳代以上で4割を超えている。



問6 現在の中心市街地をより活性化させるためにどのような取り組みが重要だと思いますか。（複数回答：n=2,255）

(1) 全体的傾向

「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が60.1%で最も高く、次いで「自家用車で訪れやすくするサービスの向上」(40.3%)、「空き店舗や駐車場等の低未利用地の活用」(38.7%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で「魅力ある商業・サービス業の開業促進」と回答した人の割合が高く、50.0%～64.9%と5割以上となっている。

また、18歳、19歳は「老朽化した建物の更新」と回答した人の割合が55.0%、70歳以上は「公共交通機関や自転車で訪れやすくする環境づくり」と回答した人の割合が33.5%と他の年代と比べ高くなっている。

